

岡田紅葉も通った富士の眺めを 越前岳

実施日	2010年4月18日(日)
天候	曇り
リーダー	涌井 良明
参加者	吉田伊勢次郎、若村勝昭、佐藤金治、馬場清士、涌井良明、鈴木恵美子、渋谷京子、中村友子、伊東久雄 計9名
費用	新宿 御殿場 2,460円 タクシー 2,230円 計 4,690円
タイム	御殿場駅(9:00 タクシー)山神社(9:30 ~ 9:40)愛鷹山荘(10:20 ~ 10:30)富士見峠(10:35)休憩(11:30 ~ 11:35)富士見台(12:08)越前岳(12:40 ~ 13:10 昼食)眺め岩(14:00 ~ 14:10)十里木駐車場(14:45)御殿場駅(15:20 ~ 15:38)
データ	積算距離 6.56km 総上昇量 631m 活動時間 5時間 06分 移動時間 3時間 26分 停止時間 1時間 40分 移動平均速度 1.9km/h 全体平均速度 1.3km/h

幸運の晴れ間に行ったつもりだったが、結局富士の眺めが得られず残念な山行になってしまった。

電車から見えた丹沢付近に沸き上がっている雲がいやな感じだったが、前日の降雪による上昇気流で山沿いには雲がでやすい日和のようだった。

御殿場駅からタクシーで30分程で山神社駐車場へ、既にほぼ満車状態である。

鳥居から登山道に入り、しっとりと濡れた道を登る、スギ林を過ぎ、灌木の沢沿いになり小尾根を回り込んで高度を上げていく。ちらっと見える山肌はまるで冬山の様相である。

愛鷹山荘で一息入れるがじっとしていると寒く、この先がやや心配だ。



富士見峠で尾根に乗り左へ進む、徐々に雪が多くなりしばらく続いた樋状の雪の交じったぬかり道は歩きにくい。

そのうちすっかり春のくされ雪に覆われた道に登るようになる。特に歩きにくい道ではないが雪があるためか、気を使



いつつ歩くことになり長く感じる道である。楽しみだった富士見台も富士の裾が僅かに覗けるだけだ。雪道の登りがゆるくなってくると越前岳の山頂に出る。



昼食にするが寒く腰が落ち着る場所も少ない。山頂の憩いとはならない。早々に写真を撮って下

山とした。

計画通りに十里木方面へ下る、それでも雪道の下りをそこそこ楽しみながらぐんぐん高度を下げていく、雪とぬかみ

が交じりだしてくると間もなく眺め岩の平坦地に出る、前方が一気に開けさぞ富士が素晴らしいだろうと思いつつ雲のカーテンを見つめることになった。既に頭上は晴れて暖かくな



ってはきたが山にまとわりついた雲は簡単に剥がれてくれない。雪のなくなった道を下り電波中継所や電波反射板を過ぎ、左右に駐車場を示す道標から左に道を取り(右でもOK)駐車場に出た。

タクシーで御殿場駅へ、乗換えの新松田で軽く反省会で締めくくった。

コピー通りにはいかなかったが、春の雪道歩きを楽しめてまあ良かったかな? 参加の皆様お疲れ様でした。

(記 & 写真・涌井 良明)